

二十歳の主張

武方 大夢

輝かしい門出の日、皆さま、お集まりいただきありがとうございます。

私は今、大学で法学部に籍を置いており、法の知識と社会の仕組みを学びながら、将来は人々の役に立ちたいという大志を秘めています。この場を借りて、私のこれからの人生のステップについて、簡単ではございますが、述べさせていただきます。

まず、私がこうして大人としての一步を踏み出すことができたのは、何よりも支えてくれた家族や恩師、友人、そして多くの方々のおかげであります。皆さまの暖かな手助けや厳しい励ましによって、私は成長し、学び、今日を迎えることができました。心から感謝の気持ちを抱えております。

将来については、私はただ自分自身のためだけでなく、社会の中で頼られる存在になりたいと思っています。人々が安心して暮らし、公正な社会を築くために、法律を通じて尽力したいと考えております。私には法学部という素晴らしい学びの場が与えられており、そこで備えた知識とスキルを活かし、社会の問題を解決する一端を担えるよう努めます。

しかし、これからの道のりは容易ではありません。厳しい競争や困難な課題に直面することも必至でしょう。しかし、私は自身の自信と情熱を持ち続けながら、成長し続ける覚悟でいます。支えてくれた方々の期待に応えるためにも、努力を惜しまず、新たな知識や経験を積み重ね、力強く前進します。

最後に、改めて私の二十歳の節目に立ち会ってくださった皆さまに、心からの感謝の気持ちを捧げます。皆さまの支えや励ましは、私の成長の糧となっております。これからも私は自らの成長と社会への貢献を続け、皆さまの期待に応える存在となることをお約束いたします。

大人となった今、責任と使命を背負っていく時です。私は引き続き努力し、カッコいい大人となるために邁進します。改めて、このような発言の機会をいただき皆さまに深く感謝を申し上げます。

以上を持ちまして私の二十歳の主張とさせていただきます。